

施策評価調書

施策名	5-1-4	健康な体づくりの推進		施策を取り巻く環境変化	近年子どもたちのスポーツ離れが進んでおり、体力については二極化している現状である一方、家庭の指導力不足から、朝食を食べない児童生徒や偏食の多い子どもが増え、防衛体力も低下する傾向にあります。
		地域経営計画(後期計画) 該当ページ	P. 63		
担当部課	教育部 子どもみらい課	担当 リーダー	学校教育担当 糸井 鉄夫		

1. 住民意識調査結果

21年度(10月実施)		25年度(※実施予定)		26年度(※実施予定)	
満足度	20.9% 第5位/全36項目(食育の推進)	満足度	第 位/全 施策	満足度	第 位/全 施策
優先度	40.2% 第29位/全36項目(食育の推進)	優先度	第 位/全 施策	優先度	第 位/全 施策

満足度:「満足である」、「どちらかと言えば満足である」を合計した割合から、「どちらかと言えば不満である」、「不満である」を合計した割合を差し引いたもの

優先度:「優先すべき」、「やや優先すべき」を合計した割合から、「あまり優先しなくてよい」、「優先しなくてよい」を合計した割合を差し引いたもの

2. 施策の目標

指標	基準値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
(基礎体力(持久力)の向上、自己管理意識の高揚)							
指標1: 朝食をきちんと食べる児童生徒の割合:(%)	22年度実績	計 画	96.8%	97.6%	98.4%	99.2%	100.0%
	96.0%	実 績	→ 96.5%				
指標2:		計 画					
		実 績					
指標3:		計 画					
		実 績					
指標4:		計 画					
		実 績					
指標5:		計 画					
		実 績					
指標に関する特記事項	○健康維持は、朝食をきちんと食べることが日常生活や学校生活においてとても大切であることを児童生徒及び保護者に理解してもらえよう努めていきます。指標は、学習内容定着度調査から各学年(小4～中3)が朝食をきちんと食べてくるよう100%を目標に掲げています。						

進捗状況の区分 ↑:目標以上の成果があった →:目標どおりの成果があった ↓:目標に至らなかった △:遅延・未着手等 ×:見直し・廃止等

3. 施策に係る経費

事業費(傘下事務事業費計)の推移【単位:千円】 (※総事業費)	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	当初	142,752	140,031	134,238		
	決算					

4. 施策傘下事務事業 ※別紙のとおり

5. 施策評価

後期計画における施策展開のビジョン		H25年度の狙い
自己評価(部)	H23事後評価	給食センターの食材について、地産地消の取り組みを進め、年々品目も増加してきました。また食教育についても、各学校や保育園で栄養士による食指導を積極的に展開してきました。
	H25事前評価	学校教育活動のなかで、基礎体力をつけるための継続的な体力づくりと、食教育を通じた自己管理意識の醸成が目標です。
総合評価		施策傘下事務事業に係る個別指摘事項
総合評価(町長)	食育については、継続的に施策展開されていると評価するので、引き続き食育地産地消推進委員会との協力体制を密にしながら、効果的な事業が展開されることを期待する。	全て「継続事業」とする。